

風 か ほ る

校長 石原 健

いじめについて考える

埼玉県では、毎年11月を「いじめ撲滅強調月間」とし、県を挙げていじめを根絶していくために集中的に取り組んでいます。所沢市も同様であり、本校では年間通じてアンケートや心理検査、面談等を用いて、生徒たちの心の様子を把握し、いじめの早期発見に役立てています。

いじめは重大な人権侵害であり、「いじめは絶対に許さない」という強い決意のもと、学校や家庭、地域が一体となり、社会全体でいじめ防止に取り組む必要があります。それでもいじめはなくなりません。何故、なくなるのか。いじめがなくなる理由を考えてみましょう。

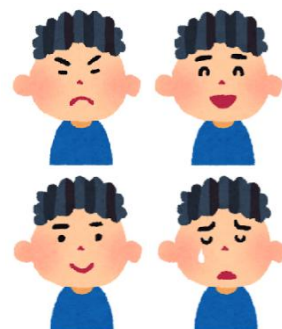
いじめがなくなる理由：いじめている人といじめられている人の捉え方（認識）の違い

これだけ色々なところで「いじめはいけません」と教えられてきているのにいじめはなくなりません。それは、いじめている人（加害者）はその行為をいじめと思って行っていないという事が考えられます。いじめは今の法律（いじめ防止対策推進法）では、下記のように記されています。

（定義）第二条 この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

特に波線の部分が重要でいじめられている人（被害者）が心身の苦痛（嫌な思い）を感じていたらいじめとなります。なので、加害者はいじめとは思わないで行っている行為も被害者にとって心身の苦痛（嫌な思い等）を感じていれば、行為の程度や内容に関係なくいじめとなってしまいます。この加害者と被害者の認識のずれこそがいじめがなくなる最大の原因なのです。

ここで説明したことは、法律上のいじめであって社会通念上のいじめと差異があることも事実としてあります。例えば、相手に対して頑張ってもらいたいと叱咤激励のために発した言葉も相手が傷つき嫌な思いを感じてしまえば法律上では、いじめとなってしまいます。では、どうすればよいのでしょうか。その答えの一つとして考えられるのは、「顔を合わせて相手の表情を見ながらのコミュニケーションを大切にする」です。自分の言動に対して、相手はどのように感じているのか…想像力をフル回転させても全てを感じ取ることは困難です。相手への伝わり方を感じ取るために最も大切なことは、相手の様子（表情や態度など）から感じ取ることが一番です。だからこそ、顔と顔を合わせてのコミュニケーションが大切なのです。二



つ目は、「単語のみでのコミュニケーションを控える」です。「先生、プリント」これはよく聞く生徒たちの一言です。この二つの単語には、「先生、プリントをもらえますか」や「先生、プリントを提出します」などその状況に応じた意味合いで使われます。会話の流れやその場の状況で伝わらない訳ではありませんが、場合によっては誤解をうみ、本来伝えたいことが伝わらない表現の仕方です。「ヤバイ」これもいい意味でも悪い意味でも使われる単語であり、一つ間違えるとほめたつもりで言ったのに、けなされたと思われてしまう非常に危ない単語の一つです。タイパ（タイムパフォーマンス）、コスパ（コストパフォーマンス）が重視される昨今ですが、良好なコミュニケーション（正確に自分の気持ちを伝え、正確に相手の気持ちを感じとる）のためには、顔を突き合わせ、どう伝わっているのか確認しながら丁寧に伝えることが大切なのです。そういったコミュニケーションこそがいじめをなくすための一歩ではないでしょうか。

合唱コンクールを実施しました

10月24日（金）、市民文化センターミューズにて合唱コンクールを開催しました。「今こそ咲かせろ～音楽は伝説を変える～」のスローガンにふさわしい発表会となりました。当日の運営は実行委員の生徒が行い、美術部手作りの立派な看板も舞台を盛り上げるなど、生徒の活躍が随所に見られました。

まず、7組が「Summer（サマー）」の美しい音色のハンドベル演奏で始まり、午前中は1、2年生、午後は3年生の学年合唱とクラス合唱、最後に合唱団の発表と進みました。どの学年も立派な発表でしたが、特に3年生の合唱は、気持ちが入った声出しから始まり、学年合唱、クラス発表とも最高の歌声、1、2年生の心にも響くとてもカッコいい最上級生の姿をみせてくれました。どの学年も審査の大館先生からお褒めの言葉をいただきました。合唱団も、コンクールの発表に劣らない素晴らしい歌声で会場を魅了しました。



保護者や地域の方にも多く参観いただき、子どもたちの歌声を届けることができました。豊かな表情、歌声や懸命な姿に感動したとの評価をいただきました。また、お手伝いいただいたPTA、愛校会の皆様、ありがとうございました。おかげさまで円滑な会場運営ができました。なお、会場費用は、市の「特色ある学校づくり支援事業」の学校配当予算を活用しています。

<結果>

金賞：7組 1－3 2－3 3－3 銀賞：1－5 2－1 3－1 銅賞：2－5 3－4

南陵中生の活躍 ～県駅伝競走大会所沢市予選会結果～

男子A優勝

男子B11位

女子A10位

男子Aチームは11月8日（土）熊谷文化スポーツ公園で行われる県大会へ出場します。県大会での活躍を期待します！